

令和6年2月16日

東京電力ホールディングス株式会社  
代表執行役社長 小早川 智明 様

# 申し入れ書

福島県議会県民連合議員会  
会長 瓜生 信一郎

## 福島第一原子力発電所 高温焼却炉建屋東側壁面からの 放射性物質を含む水の漏えいに対する申し入れ

2月7日、福島第一原子力発電所において、汚染水浄化設備（サリー）が設置されている高温焼却炉建屋東側壁面の配管から、放射性物質を含む水が建屋外に漏えいする事案が発生した。

昨年10月には増設ALPS配管洗浄作業における身体汚染が発生しており、同様のトラブルが発生しないよう、再発防止策を確実に実施するよう求めている最中、今回の事故が発生したことは、極めて遺憾である。早急に事故原因の究明と再発防止策を行い、安全管理体制の再構築に取り組まなければならない。

東京電力においては、県民に不安を与えるトラブルを繰り返し発生させていることについて、同様のトラブルを再び発生させないという強い覚悟を持ち、より一層の安全管理の徹底を図るよう、次のとおり強く申し入れる。

### 記

1. 今回発生したトラブルの原因について、設備面、作業面、管理面など様々な視点から調査・分析を行うとともに、現在取り組んでいる増設ALPSでの身体汚染に係る再発防止策を含め、未然防止の観点に立った再発防止を徹底すること。
2. ヒューマンエラーは必ず起きるものとして、危機意識を持って設備と作業工程の再点検を行い、再び同様のトラブルが起きないように安全対策の徹底に努めること。また2重チェックの観点からアラームなどの安全装置を取り付けるなど、再発防止策を講じること。
3. 他の廃炉作業についても総点検を行い、再び同様のトラブルが発生しないよう、安全管理体制の構築を改めて徹底すること。
4. 今回のトラブルによる環境への影響の有無や、今後の対策について、県民の目線に立ち、正確で分かりやすい情報発信に責任をもって取り組むこと。併せて県民の信頼回復に全力を挙げることに。

以上